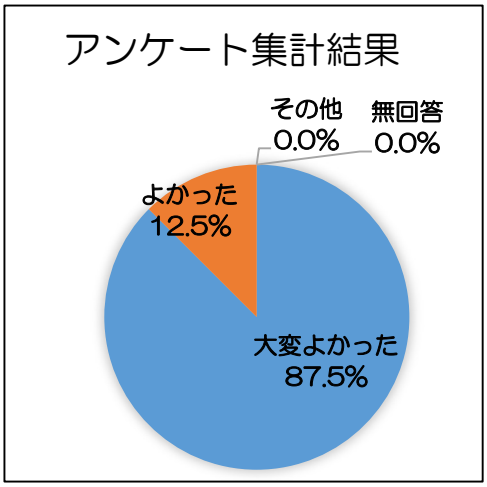
研修のまとめ

佐世保市幼児教育センター

令和８年度　　保幼小連携研修　合同研修会

目　的	乳幼児教育・保育施設の職員と小学校及び義務教育学校の教職員が、幼児期から児童期への育ちや学びのつながりについて、子どもの育ちを中心に据えた対話を通して一緒に考え、保幼小連携の必要性を学ぶ。
日時・場所	令和８年９月２日（水）14:30～16:30　　佐世保市役所　１３階大会議室
対　象	乳幼児教育・保育施設職員 小学校及び義務教育学校職員 西九州させぼ広域都市圏対象講座
演　題	どんな子どもが育ってほしいですか？ ～今、「みんなの学校」が教えてくれること～
内　容	講義
講　師	大阪市立大空小学校　初代校長　木村泰子　氏

参加者（合計　123　名）					
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校	その他	広域
11	3	24	58	3	24



【感想】

- 研修を受けて、自分の保育に自信が持てた。これからも子ども主体で子どもが満足できる保育をしていきたい。
- 自分が大切だと思うことに、大きく背中をおしてもらった。大事なことを思い出させてもらった。
- 地域の他園や小学校の先生方と、直接話す機会をまず作りながら、子どもが困らない環境を作るための連携を取っていきたいと思った。
- 楽しいこと、夢中になれること、生き生きできることを見つけて、幼稚園で伸び伸びと育った子どもが小学校でも同様に過ごせるよう。小学校の先生方と共にどうしたら良いか考えていきたいと強く思った。
- 本当の意味での子どもまん中の連携を目指すため、小学校の先生と対話をして、交流を重ねていきたい。
- わかっているつもりの無意識の偏見について、改めて考える機会になった。熱心な無理解者にならないよう子どもや保護者を主語にして寄り沿っていきたい。
- 自園が子どもの安心できる場であり続けられるよう、４つの力（人を大切にする力、自分の考えを持つ力、自分を表現する力、チャレンジする力）を育てていきたい。自分も楽しく仕事ができる環境を作っていきたい。